

公務員倫理を考える(JKET)

～ 倫理観の涵養を図り、不祥事を防止するために ～

近年ますます強く求められている高い倫理観に基づく公務運営をめざして人事院が開発した研修です。公務に対する国民・住民の信頼を確保するためにはどのように行動すればよいかを意識させ、それらの行動を職場で実践していくことをねらいとしており、研修参加者は討議、事例研究、ロールプレーを通じて倫理のあり方について理解を深めていきます。

※JKETとは、「Jinjiin Koumuin Ethics Training」の略称です。

カリキュラム例:JKETには、標準課程と指導者養成課程があります。

①標準課程のカリキュラム例(2日。研修ニーズに応じて短縮することができます。)

倫理とは	公務員に求められる倫理 I	休憩	公務員に求められる倫理 II	公務員に求められる規律
実際の場面で I		休憩	実際の場面で II	望ましい職場風土の形成

② 指導者養成課程のカリキュラム例(3日)。上記の標準課程など公務員倫理に関する講師を務められるように、指導者実習を行います。

倫理とは ①研修のはじめに ②自己紹介 ③なぜ倫理を守らなければいけないのか ④自らの価値観を知る		休憩	公務員に求められる倫理 ①公務に対する批判と公務の特性 ②公務員に求められる倫理 ③積極的に行動する
公務員に求められる規律 ①不祥事を防止するには(実習 1,2) ②誘惑に負けないために(実習 3,4)	実際場面で 事例研究 I	休憩	実際の場面で 事例研究 II～IV (実習 5～10)
実際の場面で ロールプレー I～V (実習 11～14)		休憩	望ましい職場風土の形成 ①内部通報・告発(実習 15,16) ②職場のリーダーの責任(実習 17,18) ③職場での実践 ④指導会議

- 討議課題例・ロールプレー状況設定例
- ❖ 公務組織の体質や公務員の行動に対する批判は、なぜ生ずるのか。
- ❖ 資料を家に持ち帰り仕事を行った。翌朝、当該資料を見た配偶者が株式を購入しようとしていることがわかった。あなたは、配偶者にどのように対応しますか。
- 研修参加者の声(指導者養成課程受講者アンケートから)
- ❖ 実際に起こりうる場面から倫理を考えるため、倫理に対する意識が高まるプログラムである。
- ❖ 実習が多く緊張したが、身になった。講師として少し自信がついた。
- 研修会の開催日程については、研修会スケジュールをご覧ください。